

◆市長のお出かけトーク◆

・「カナリヤの家親の会」の皆さんと子どもを育てる環境について

| 開催日・参加者 | 内容(参加者の主な発言) |
|--|--|
| <p>23年7月26日(火) 場所 カナリヤの家 参加者 18名 ・カナリヤの家に通園しているお子様の親で組織する、「カナリヤの家親の会」と「親の会〇B」の皆さんに、子どもを育てる環境についてなどを発言していただきました。</p> | <p>【主な発言内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 核家族で発達障がいの子どもが2人おり、子どもを預けての就職活動や家庭環境などにより、なかなか職に就けない状態です。保育園に入園するには基準がありますが、家庭の状況などを考慮して基準を緩和してもらえませんか。 ○ 保育園や幼稚園は子どもたちにとって、他の子どもと接して、その中で成長できる唯一の場所なので、その機会を大切にしていきたいです。 ○ 通園児の増加により、カナリヤの家の行事が少なくなっています。子どもの成長には欠かせないので、集団での行事を増やしてもらえませんか。 ○ カナリヤの家の先生には、子どもの療育だけでなく、親の相談にも親身になっていただきました。今後も変わらない療育をすべての子どもに注いでください。 ○ 専門の先生を招き、保育の中でリハビリ訓練を行い、その場でアドバイスをもらうなど、市と病院が連携して療育に取り組んでももらえませんか。 ○ 幼児対象の理学療法や作業療法は、訓練を受ける場が遠方に限られているので、近隣の病院と連携して訓練の場を充実していただきたいです。 ○ 小学校の支援学級に通わせています。登校から下校まで保護者の付き添いが必要で、保護者がいることで甘えてしまい、成長の機会を奪っている気もします。サポート教員を増やしていただくなどにより、保護者の付き添いをなくしてもらえませんか。 ○ 来年、長男が小学校、次男が保育園に通います。長男は一人での集団登校が難しいため、私が2人を小学校に連れて行き、長男を下ろしてから、保育園に行き、次男を預け、10時までに職場に行く必要があります。時間的にも不安があります。核家族の為、祖父母に助けてもらうこともできません。行政として支援していただけることはないですか。 ○ 近隣にソーシャルスキルトレーニング(SST)ができる施設がありません。近隣でSSTができるよう、働きかけてもらえませんか。 ○ 子どもが成長していくたびに将来の就職への不安が大きくなります。市内には働き場が少なく、市外で就職される方が多いです。市内で就 |

職先が確保できるよう市も協力していただけませんか。

- 子どもの就労への不安があります。就労や助成制度に対する情報をもっと提供していただきたいです。
- 今日、参加されている親は、カナリヤの家のことやカナリヤの家に通っている子どものために一生懸命がんばっている方たちばかりです。このパワーを大事にして、行政が引っ張ってほしいです。

【市長の発言】

- 今年4月、牧野地区に可茂特別支援学校が開校しました。自立に向け、おおいにご活用してください。
- 東日本大震災を経験し、我々の生命や身体は、いつ、どうなるかわからないと改めて感じました。健常者もそうでない方も、皆で支えあっていける地域づくりをする必要があります。
- カナリヤの家を利用されたお子様方が、将来、社会人として成長していただけるためにご支援をしていきたいと考えています。
- サイエンスワールドは、障がいのある方への遊びを通じた実験も行っています。ぜひ、いろんな体験をお子さんにさせてあげてください。
- 保育の中や意見交換などから、お子さんの輝くところを見つけ、伸ばしてやってください。
- 皆さんの話をお聞きしていると、もう少しきめ細かなところへの支援も必要だと感じました。
- 障がいがあるからと区別することなく、社会の一構成員として活動していただける環境や社会づくりをめざしていきます。そのために多くの皆様のご意見をいただき、改善し充実していきたいと考えています。

※ 参加者の皆さんには、事前に具体的な質問事項をいただき、質問事項への対応を配布させていただきました。

(本日、意見をいただきました事項についての対応は省略させていただきます。)